

よくある質問 (FAQ)

痛みと麻酔

Q: インプラントの手術に痛みはありますか？

A: 歯科医師は、手術中できるだけ痛みがないよう、局部麻酔をします。広い範囲に数多くのインプラントを入れる場合や、特殊な手術の場合に、痛みを軽減する様々な療法を行うこともあります。詳しくは、担当医にご相談ください。

インプラントの費用

Q: インプラントの治療費はどのくらいかかりますか？

A: インプラントは、健康保険が適用されません。治療計画によって高額になることがあります。しかし、インプラントのメンテナンスをきちんと行なえば、長期にわたって機能と見栄えを保つことが可能であり、豊かなライフスタイルが実現します。

費用の詳細については、本パンフレットの15ページにある表を使って、担当医にご相談ください。

インプラントの審美性

Q: インプラントをしていることは他人に気づかれますか？

A: いいえ。インプラントの人工歯は、天然歯の形、大きさ、色に合わせて作られます。

☆インプラントを埋めるには最低1cmの骨の高さが必要ですので、歯周病などで骨の吸収が強い方はインプラントが困難な場合があります。

材質の信頼性と耐久性

Q: インプラントは何でできていますか？

A: インプラントは純チタンでできています。これは、生体組織に適合しやすく、信頼性の高い材質です。

Q: インプラントはどのくらいもちますか？

A: インプラントは、歯科医師による綿密な治療計画と適切なメンテナンスを行うことにより、長い期間にわたって機能させることが可能です。しかし、インプラントの周りに歯垢がついた状態にしていると天然歯と同様に、歯周病のような状態になります。インプラントを長持ちさせるためには、毎日丁寧に歯磨きし、必ず定期検診を受けてください。

10年後の生存率95%、25年後の生存率85%程との報告があります。



治療期間と治療方法

Q: 治療全体ではどのくらいの時間がかかりますか？

A: 治療期間は患者さんの状態と治療計画によって異なります。通常4~6カ月かかります。詳細については、担当医にご相談ください。

Q: インプラントは何本くらい入れればいいのですか？

A: 抜けた歯1本に対して必ずしも1本のインプラントを入れる必要はありません。あごの骨の質と量によっては入れることができない場合もあります。

その他

Q: インプラントの治療を受けるための年齢制限はありますか？

A: インプラント治療は、骨の成長が終わってから行われます。通常、骨の成長は18-20歳ごろに完了しますが、個人差があります。なお、インプラント治療を受ける年齢の上限はありません。

Q: 糖尿病などの慢性疾患があってもインプラント治療を受けられますか？

A: 糖尿病などの慢性疾患がある方は、医師の指導のもとに十分にコントロールされていれば大丈夫ですが、状態によってはインプラント治療ができない場合があります。詳しい病状を伝え、担当医にご相談ください。

Q: 歯周病があってもインプラント治療を受けられますか？

A: 歯周病があると口腔内の衛生状態がよくない場合があり、インプラントを埋め込むことはできません。インプラント治療を受ける前に、歯周病を治療する必要があります。

☆コントロールされていない、もしくは未治療の糖尿病がある方や、タバコを習慣的に吸われる方は、インプラントのトラブル(インプラント歯周炎の罹患率)が、2~3倍になるとの報告があります。

☆過去の報告によると、男性は女性に比べて1.65倍の失敗率、歯周病が原因で歯を抜歯された方はそうでない方と比べて3.34倍の失敗率があるとされています。